

しらべてみよう!たいせつな ^{みず}水 のこと



^{だい}第^{かい}3^{ぜん}回^{こく}全^{しょう}国^{がく}小^{せい}学^{せい}生

「わたしたちのくらしと^{みず}水」

^{しん}ガ^{ぶん}ベ^{ぶん}新^{ぶん}聞^{ぶん}コ^{ぶん}ン^{ぶん}テ^{ぶん}ス^{ぶん}ト 2017

入賞作品集



主催：公益財団法人 セディア財団

後援：全国市町村教育委員会連合会 / 全国連合小学校長会 /
全国小学校社会科研究協議会 / 全国小学校理科研究協議会 /
日本初等理科教育研究会 / 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 /
全国新聞教育研究協議会 / 全国小中学校環境教育研究会

もくじ

- 主催者からのあいさつ.....1
- 審査委員長総評.....2
- 経過報告.....3
- 審査結果.....4
- 入賞作品ご紹介.....7
- 応募規定.....29
- 応募校一覧.....30

主催者からのあいさつ

公益財団法人セディア財団

理事長 渡邊 元

このたび、セディア財団では第3回全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテストの入賞作品集を発刊することとなりました。本コンテストは、小学生の皆さまに、生活するうえで欠かせない大切な「水」について調べ、考える機会を持ってもらいたいという想いで、平成27年度より開催させていただいております。

第3回の今回は、おかげさまで、前回よりも約2,000点多い、5,022作品もの力作が全国から寄せられました。

ご応募いただいた作品は、昨年に引き続きレベルの高いものばかりです。児童の皆さまが時間をかけて調べ得た知識、実体験を基にまとめられた水についての学びは、私たちに新しい気づきをもたらしてくれるだけでなく、皆さまの水への想い、感謝が感じられる、素晴らしいものでした。今回のコンテストを通じ、今後の学びの場、生活で活かされることに期待しております。

生命、自然、文明は、水なくして発展することはありません。そして言うまでもなく、水はこれからも欠かせない資源です。わたしたちは、必要不可欠な「水」の大切さを若い世代に伝えるため、このコンテストを継続して参ります。

今後ともご支援、ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



学校奨励賞

青森市立堤小学校 (青森県)

学校奨励賞を受賞した3校を訪問し、セディア財団より、賞状、盾、副賞の授与を行いました。



学校奨励賞

小郡市立三国小学校 (福岡県)



学校奨励賞

北九州市立黒崎中央小学校 (福岡県)



経 過 報 告

作品募集

全国の小学校5千校に対し、2017年5月25日からご案内チラシ・ポスター・応募の手引き等の発送を開始。また、日本経済新聞本紙(6月21日)に募集開始広告を掲載しました。
7月には、セディア財団活動報告書「Mizu Mirai(ミズミライ)」とともに、再度上記の5千校にご案内チラシ・ポスターを送付するとともに、後援各団体への募集協力依頼と、事務局(プラスエム)ネットワークを通じて、全国の小学校に応募を呼びかけました。

応募総数

2017年10月10日(火)の作品応募締め切り日までは、全国の小学生から前回は大きく上回る5,022作品(160校)もの力作が集まりました。

応募部門	応募数
小学校低学年の部	35作品
小学校高学年の部	4,987作品
応募総数	5,022作品

一次審査会

〔開催日〕 2017年11月7日(火)
部門(低学年/高学年)ごとに審査を行い、最終審査会ノミネート作品42作品(低学年3作品、高学年39作品)と、努力賞候補作品を選考。また、学校奨励賞には、優秀な作品を多数応募した学校3校の推薦を行いました。

最終審査会

〔開催日・場所〕 2017年12月5日(火) 日本経済新聞社東京本社
一次審査会で絞り込まれたノミネート作品(42作品)について厳正な審査を行い、各賞を決定しました。
※賞と賞品は29ページ参照。
※一次審査会で選ばれた「努力賞」候補作品65点を承認しました。
※一次審査会から推薦があった学校奨励賞3校を承認しました。

最終審査委員 (順不同・敬称略)

角屋 重樹	日本体育大学大学院教育学研究科長(審査委員長)
北 俊夫	国土舘大学体育学部教授
月岡 正明	全国小学校社会科研究協議会会長
林田 篤志	全国小学校理科研究協議会会長
水谷 光一	全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長
小林 豊茂	全国新聞教育研究協議会会長
渡邊 元	公益財団法人セディア財団理事長

審査委員長総評

日本体育大学大学院教育学研究科長

角 屋 重 樹

今回の入賞作品は甲乙付け難く、全体的にレベルが高いものでした。これらの作品に共通する特徴は、次の2点に整理できます。

(1) テーマの設定と内容について

テーマを設定する場合に、いかに「売り」を作るかです。具体的には、新聞を作る時の目的意識であり、読み手に何を訴えるかが重要です。このことは皆さんの独創性の現れで、今回たくさん作品にそれが見られました。このような独創性は、単に資料を集め、それらを読み取るだけでは表出できません。実際に、現地に行って調べたり、あるいは体験するとか、時間をかけて作品を通して現れます。また、自分が伝えたいことに沿って情報を取捨選択した作品は、読み応えがあります。さらに、自分の住んでいる地域に根差した作品はよいものになる傾向があります。

(2) 新聞の表現方法について

調べたことを、どのようにして新聞を読む人にわかりやすく表現するか、ということも大切なことです。つまり、読者という他者の視点を意識して表現することです。

また、新聞が全体としてバランスよく整理されていることも重要です。



努力賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
高学年の部				
北海道	札幌市立伏古北小学校	4年	添田 朱菜	大切な水新聞
青森県	青森市立堤小学校	4年	工藤白菜乃	水の流れと私たちの関係
宮城県	仙台市立市名坂小学校	4年	織田 芽吹・栗山 佳子 郷原 美優・三浦 健太	ダムと浄水場の何だこれ！！新聞
山形県	鶴岡市立朝陽第三小学校	4年	上竹 凜南	ひみつ
茨城県	つくば市立沼崎小学校	4年	富田 有海	霞ヶ浦守ろう新聞
茨城県	土浦市立真鍋小学校	4年	高橋 愛生	霞ヶ浦の水
茨城県	土浦市立真鍋小学校	4年	所 莉子	水大切新聞
茨城県	土浦市立真鍋小学校	4年	安田 れん	水とくらし新聞
埼玉県	川口市立芝小学校	4年	野村 実花	水って大切新聞
埼玉県	川口市立十二月田小学校	4年	池田 天音	命の水新聞
埼玉県	川口市立戸塚南小学校	4年	鶴岡 優菜	水のひみつ新聞
埼玉県	坂戸市立坂戸小学校	4年	山本悠果莉	大事な水新聞
千葉県	千葉市立園生小学校	4年	榎本 唯翔	水新聞
千葉県	千葉市立園生小学校	4年	周防 桃花	地球は水のわく星
千葉県	我孫子市立湖北小学校	4年	日向 渉・林 莉加 川又 瑠奈・今井 淳斗	大切な水新聞
千葉県	いすみ市立大原小学校	4年	橋本 知佳	いすみ市の水
千葉県	鎌ヶ谷市立北部小学校	4年	工藤 彩花	大切な水道水新聞
千葉県	習志野市立香澄小学校	4年	小森 生大	すいすい新聞
千葉県	船橋市立田喜野井小学校	4年	三島 弥恵	Let's 水授業
東京都	板橋区立北前野小学校	4年	横川 ゆい	水大すぎ！
東京都	江戸川区立小岩小学校	4年	河島 有里	水道新聞
東京都	江東区立八名川小学校	4年	稲森 美彩	地下水・井戸しんぶん
東京都	江東区立八名川小学校	4年	佐藤 朱莉	世界の水事情新聞
東京都	杉並区立桃井第四小学校	4年	西山莉紗子	水再生
東京都	杉並区立桃井第四小学校	4年	吉田 愛唯	水再生
神奈川県	平塚市立大野小学校	4年	小泉 里碧	命をつなぐ水新聞
神奈川県	平塚市立大野小学校	4年	佐藤 拓人	水とわたしたち新聞
新潟県	村上市立西神納小学校	4年	坂上 綱	水を大切に
福井県	坂井市立加戸小学校	4年	西野 月菜	みなもと新聞
長野県	上田市立神科小学校	4年	飯田 歩侑	そめや浄水場見学新聞
長野県	上田市立神科小学校	4年	上原 唯緒	そめや浄水場見学新聞
愛知県	安城市立梨の里小学校	4年	堀田 実紗・森 愛姫花 石田 咲羅・園部 煌心	学ぶ新聞
大阪府	大阪市立高殿小学校	4年	江藤 美旺	水の大切さ新聞
大阪府	大阪市立高殿小学校	4年	田村那美ら	わくわく浄水場新聞
大阪府	大阪市立東中川小学校	4年	金原 愛	水害新聞
大阪府	河内長野市立小山田小学校	4年	土肥 卓寛	くらしを守る水
大阪府	高槻市立北大冠小学校	4年	谷口 華菜	水のうっかりかわり新聞
大阪府	豊中市立刀根山小学校	4年	合木 雄飛・佐々木健真 原田 杏花・井上 健剛 高乗 大地・南出 真季	大切な水新聞
大阪府	豊中市立野畑小学校	4年	奥村 真衣	みんなの水
大阪府	豊中市立野畑小学校	4年	河田明生梨	下水道
大阪府	寝屋川市立桜小学校	4年	澁谷 心優	水道新聞
和歌山県	有田川町立石垣小学校	4年	畑中 望来・長田 陽花 芝崎 音彩	WATER新聞
和歌山県	串本町立西向小学校	4年	小堀敬太郎・田中 翌夏 寺田 遥斗・濱矢 愛翔 東 泰成・畑上 綾音 宮本 花春・山田 菜央	串本町のなんたん水
兵庫県	明石市立大観小学校	4年	小栗 董子	ワールドウォーター新聞
兵庫県	明石市立山手小学校	4年	山本真之介	明石の水新聞
兵庫県	加古川市立加古川小学校	4年	坂本妃菜乃	ふしぎがいっぱい水新聞
兵庫県	川西市立陽明小学校	4年	南条 愛実	水はどこへ行くの？
広島県	廿日市市立阿品台西小学校	4年	前田 紘佳	水を大切に
広島県	福山市立春日小学校	4年	新田 春香	くらしと水新聞
広島県	福山市立春日小学校	4年	林原 咲紘	水の3R新聞
鳥取県	鳥取市立湖南学園小学校	4年	梶川 明純	せつ水新聞
鳥取県	鳥取市立湖南学園小学校	4年	蔵光 玲奈	くらし新聞
鳥取県	鳥取市立湖南学園小学校	4年	保木本朱華	大切な水新聞
福岡県	北九州市立黒崎中央小学校	4年	末金 智也	大切な水新聞
福岡県	小都市立三国小学校	4年	中岡 二葉	大切な水新聞
福岡県	久留米市立合川小学校	4年	阿部 稜瀬	みんなの水新聞
福岡県	久留米市立合川小学校	4年	江崎ももか	水新聞
福岡県	久留米市立合川小学校	4年	村松 彩花	地球にやさしい水新聞
佐賀県	佐賀市立若楠小学校	4年	竹下 結生	大せつな水
山梨県	山梨市立日川小学校	5年	柳場 弥・奥平 壮伸	水のゆくえ
東京都	墨田区立小梅小学校	6年	柳場 藍衣・奥平 大地	
東京都	墨田区立小梅小学校	6年	黒澤 梨湖・高島 朱莉	地球のeco新聞
広島県	広島市立八幡小学校	6年	沖田 知紘	水について考える

学校奨励賞

都道府県	学校名
青森県	青森市立堤小学校
福岡県	北九州市立黒崎中央小学校
福岡県	小都市立三国小学校

審査結果

最優秀賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
沖縄県	うるま市立赤道小学校	5年	銘苅 果子	沖縄の水の歴史新聞

優秀賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
低学年の部				
埼玉県	さいたま市立常盤小学校	1年	村上 煌宙	水からのごちそう
高学年の部				
山形県	遊佐町立遊佐小学校	6年	高橋 佑奈	水色新聞
福島県	福島市立福島第三小学校	6年	遠藤 萌花	広がれ！！福島のおいしい水
広島県	江田島市立大古小学校	6年	出口 若菜	龍瓶 江田島水道新聞

準優秀賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
低学年の部				
福岡県	福岡市立照葉小学校	2年	石松 真一	わたしたちのくらしと水新聞(夏休みとくべつごう)
高学年の部				
北海道	釧路市立興津小学校	4年	畑澤 玲那・二宮 沙羅 多田 華音・永戸 暖愛 棟方 暖里・五十嵐黎空	SIZUKU
秋田県	湯上市立飯田川小学校	4年	富樫 龍陽	水めぐり新聞
埼玉県	さいたま市立常盤小学校	4年	村上 惺南	水パラダイス！！スポーツと遊び
東京都	江戸川区立小岩小学校	4年	伊藤 由莉	水の恵み
東京都	練馬区立田柄小学校	4年	鈴野あおい	しずく新聞
栃木県	宇都宮市立東小学校	6年	田中 晴菜	生活を支える水新聞
東京都	墨田区立小梅小学校	6年	相原友季菜・松井 絹子	地球と水新聞
岐阜県	養老町立広幡小学校	6年	栗田 佳葉	H ₂ O新聞
大阪府	吹田市立吹田第六小学校	6年	前川真奈花	水太新聞

佳作

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
低学年の部				
神奈川県	横浜市立日吉南小学校	2年	清家 大誠	川のしごと新聞
高学年の部				
北海道	札幌市立伏古北小学校	4年	河野 美月	水新聞
北海道	札幌市立伏古北小学校	4年	藤野 遙音	ウォーター 家にとどくまで新聞
青森県	青森市立新城中央小学校	4年	石岡 美羽	守れ！！青森の「水」新聞
青森県	青森市立新城中央小学校	4年	稲見 花穂	生活にかかせない水新聞
青森県	青森市立堤小学校	4年	佐々木優理子	わたしたちの命と水
茨城県	水戸市立堀原小学校	4年	遠藤 里咲・幸田 芙蓉 近藤 旭・齋田 勇希	水は友達新聞
埼玉県	川口市立戸塚南小学校	4年	千葉 真	命とつながる水
東京都	杉並区立桃井第四小学校	4年	増田 千乃	幸せ下水道
神奈川県	相模原市立緑台小学校	4年	荒田 実咲	水の道新聞
神奈川県	相模原市立緑台小学校	4年	佐藤 心花	人と水新聞
大阪府	河内長野市立小山田小学校	4年	西田 董	わたしたちのくらしと水新聞
大阪府	高槻市立北大冠小学校	4年	福井 美都	水みず新聞
兵庫県	神戸市立魚崎小学校	4年	三好 舞果	水道ありがとう新聞
福岡県	北九州市立小倉中央小学校	4年	伊藤 結	水新聞
福岡県	小都市立三国小学校	4年	河室 芽依	みんなの水新聞
福岡県	小都市立三国小学校	4年	山下 稜太	一てきの水
佐賀県	武雄市立山内西小学校	4年	松尾万莉愛	水ができるまで新聞
愛知県	稲沢市立稲沢北小学校	5年	安田 彩花	なぜ？なに？きれいな水
神奈川県	横浜市立三ツ境小学校	6年	後藤 大祐	暮らしと水新聞
神奈川県	横浜市立三ツ境小学校	6年	西川 菜瑠	地球は水の惑星

努力賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
低学年の部				
岐阜県	養老町立広幡小学校	2年	久保田明莉	ようろうのたきしんぶん
長野県	軽井沢町立軽井沢西部小学校	3年	河尻 侑大	水の惑星新聞

入賞作品 ご紹介



- 最優秀賞 1作品
- 優 秀 賞 4作品
- 準優秀賞 10作品
- 佳 作 21作品

日本経済新聞に、 最優秀賞受賞作品が掲載されました

第3回全国小学生 全国5,022作品の中から最優秀作品賞が決定!

「わたしたちのくらしと水」
ガベ新聞コンテスト 2017

SEIDIA Foundation

最優秀賞

第3回全国小学生かべ新聞コンテスト
入賞作品集
をプレゼント!

※写真は第2回の入賞作品集です。

【応募締め切り】
2018年 2月16日(金)
※2月末発送予定

【作品集のご応募】
全国小学生「わたしたちのくらしと水」
かべ新聞コンテスト事務局(株式会社プラスエム内)
※祝日を除く月曜日～金曜日 10:00～17:00
TEL:03-6222-5251 FAX:03-6222-4823
Eメール:mizu-shinbun@plus-m.co.jp

コンテストの結果発表については
セディア財団HPでもご確認いただけます。

公益財団法人 セディア財団
〒104-0045 東京都中央区築地5丁目6番10号 浜離宮パークサイドプレイス6F Tel. 03-3549-3090 fax. 03-5565-6374 <http://www.sedia-found.org/>

最優秀賞表彰式のようす



最優秀賞

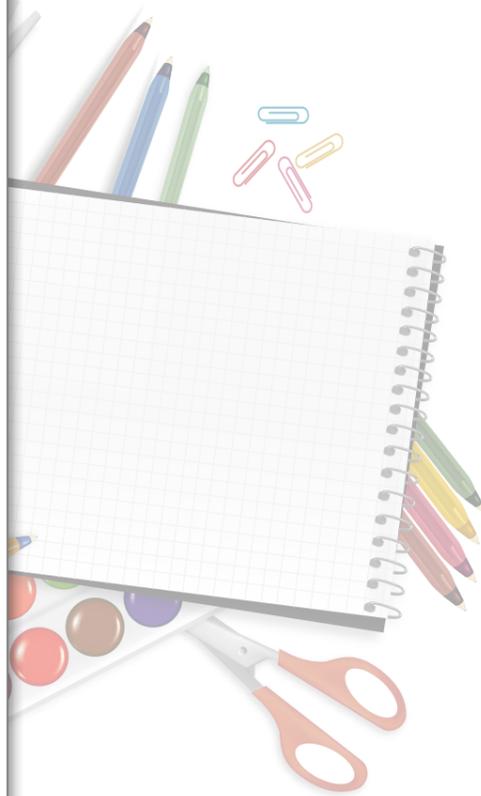
「沖縄の水の歴史新聞」

沖縄県 うるま市立赤道小学校 五年

銘 莉 果 子

受賞者の声

最優秀賞という大きな賞をいただき、びっくりしました。とてもうれしかったです。私は沖縄の浄水場での水講座や施設見学、また、ダムでのパネル展示などで沖縄の水の歴史を学び、全国に知ってもらいたいと思い新聞にしました。



指導の先生から

先日の琉球新報社主催「学校新聞コンクール」で2年連続の県知事賞受賞に続き、今回は全国での最優秀賞に決まった事を聞いて、大変驚くとともに喜んでいきます。内容の異なる2つのテーマに真剣に取り組んできた事もさる事ながら、日頃の学習に向かう姿勢や、学級のためにがんばってくれる様子には、いつも感心しています。県の子どもイベントの進行役を務めたり、山形県との交流にも市内の小学生を代表して参加するなど活躍の場も多く、将来が楽しみです。

選評

沖縄の水事情について、地形や気候条件なども結びつけながら、歴史的な視点から調べ、かべ新聞をとても分かりやすく構成しています。紙面から、水を得るために人々はこれまでさまざまな苦労を重ねてきたことが伝わってきます。沖縄本島にある11の多目的ダムをすべて訪ねるなど、努力のあとが見られます。

沖縄の水の歴史新聞

平成29年10月25日

沖縄県うるま市立赤道小学校
5年 銘莉果子

沖縄の水道の始まり

水道ができる以前は、湧水や川や井戸の水を直接利用したり、軒先に雨どいを作って、屋根に付いた雨水を集めて使っていました。沖縄の人々は水をためるために大穴を掘りました。明治16年頃（1883年）に、那覇の人口が増加するに伴って、雨水だけでは足りなくなりました。そこで、那覇の人口が増加するに伴って、雨水だけでは足りなくなりました。そこで、那覇の人口が増加するに伴って、雨水だけでは足りなくなりました。...

沖縄の建物の上のUFO

遠くからながめると沖縄の建物の屋上にはまるで（UFO）のような、色々な形や大きさの水タンクがあります。これは本土ではあまり見かけない風景です。どうして沖縄の家にはタンクが必要なのでしょう。...

沖縄のダム

河水や地下水が中心だった沖縄の水は、比較的規模が小さいこともあり、安定した水確保が難しい状況になりました。さらに、人口や観光客の増加なども重なり、水に対する需要は増え続ける一方、水に対する備蓄は減っていき、水不足に悩まされてきました。現在、ダムからの取水割合は約80パーセントを占めています。さらに、取水量そのものも増えていくので、ダムからの取水が圧倒的に少なくなっています。降雨の少ない日が続くと、たまたま河川からの取水でも量は少なくなり、ダムは、それに比べると降雨の量が比較的小さい水源と言えます。ダムの完成は以前に比べて安定した取水を可能としました。

安心・安全な水が届くまで

沖縄本島の水源は、主に北郷と中郷のダムや河川となっています。南に相対的に地形のため、これらの水源と主な消費地である中郷や南郷は、距離が離れていて、水を運ぶのが大変です。そのため、水はダムや河川から集めて、パイプラインで運ばれ、浄水場できれいにし、水塔で貯え、各家庭まで届けられます。

くらしの水と私の出来ること

沖縄の人々は、古来から水に苦しんでいました。人々は天候などによって確保することが困難な状況に陥り、様々な工夫や技術を生み出してきました。水は、水道の蛇口をひねればすぐ出てきます。しかし、水は限りある資源で、暗く天候によって水がなくなることがあります。私たちがしなければならないことは、日頃から水の無駄使いをなくし、節水に心がけることです。

安心・安全な水道水

私たちの住む沖縄では、昔から水を確保するために苦労してきました。歴史があり、沖縄は亜熱帯地域で、年間降雨量は全国平均から見ると比較的少ないです。また、ほとんどの島が地形的に条件から大きな河川がなく、またこの雨量も梅雨期と台風期に集中するなど生活用水に恵まれない地域で、人々は湧き水を求めて移動し、そこに集落を形成して生活していました。...

昔の人の体験談

昔は、毎日カマ（おき水、井戸水）まで飲み水をくみに行ったり、泥たきをしてみんなが暮らしてました。日照りが続くとカマの水がなくなると、もうのどが乾いてくるので、おき水（おき水）をくみに行きました。...

水が足りなくなる原因

水が足りなくなる原因は、主に夜間貯水や日おきの給水というように、給水制限が行われてきました。しかし、貯水のタンクも水が使えるように、建物の屋上に水タンクをおくようになったのです。

ダム

大田ダム
2,200m³
大田ダム
2,200m³
大田ダム
2,200m³
大田ダム
2,200m³

優秀賞

低学年の部

「水からの「ごちそう」」

埼玉県 さいたま市立常盤小学校 一年

村上煌宙



選評

水は地球を循環していることや、私たちが食べている魚や野菜などを育てるために役に立っていることが、イラストを使いながら、楽しくまとめられています。アンケートの結果も紹介されていて、説得力があり、水の大切さを訴える内容になっています。

受賞者の声

たくさんのおさかなやさんでアンケートすることをがんばりました。さかなく・おこめ・やさい・くだものなど、ほとんどのたべものに水がつかわれていますのがわかりました。いろいろな水の本をよんで、水のことをすることができました。べんきようになりました。これからも水をたいせつにしていきたいです。

優秀賞

高学年の部

「水色新聞」

山形県 遊佐町立遊佐小学校 六年

高橋佑奈



選評

遊佐町は湧水の多い町であることや、湧水を昔から大切にしてきたことを紹介した記事から、地域の人たちが湧水を誇りにしていることが伝わってきます。地図や写真が効果的に配置されていて、町のどこにどんな湧水があるか、よくわかります。

受賞者の声

この作品は、遊佐の湧水のいい所をメインに作りました。わりつけなどもインパクトのあるやり方が出来て、まとまった内容で書けたので、いい作品が出来たと思います。受賞したことを聞いて、受賞するとは思わなかったのですが、正直うれしいのと、この遊佐を代表するいい新聞が出来たこともよかったです。

「広がれ!!福島のおいしい水」

福島県 福島市立福島第三小学校 六年

遠藤 萌花

選評

福島の水がおいしい秘密について、摺上川ダムの紹介とともに、茂庭生活歴史館を訪ねてダム建設に協力した人々の思いを調べ、記事にしたことは素晴らしいです。また、水の性質にも着目して、硬度を比較したことにより、紙面が豊かになっています。

受賞者の声

このような賞をいただけたらと思うていなかったけれど、とてもびっくりしました。でも、夏休みに一生懸命作ったのでうれしいです。今まで水のことをたくさん調べてきたので、小学校最後にきちんとまとめられたらいいな、福島のお水は安全でおいしいんだという事が伝わればいいな、という思いをこめて仕上げました。

2017年8月20日 広がる福島のおいしい水 龍瓶 江田島水道新聞

「龍瓶 江田島水道新聞」

広島県 江田島市立大古小学校 六年

出口 若菜

受賞者の声

私は、江田島市の水道のしくみがどうなっているかということに興味を持ち、実際に浄水場に行ってみて見学させてもらいました。そこで「龍瓶」という昔から続く貯水施設があることを初めて知り、新聞で紹介することにしました。受賞を聞き、がんばって調べたり、まとめたりしてよかったなと思いました。

選評

実際に起こった断水の時のことを取材していますから、かべ新聞の書き出しにリアリティがあります。「龍瓶」について調べたことは、歴史の視点から先人の努力を伝える役割があります。かべ新聞づくりに楽しく取り組んだ様子が伝わってきます。

江田島の水は、どうやってできているの?

龍瓶 江田島水道新聞

準優秀賞

低学年の部

「わたしたちのくらしと水新聞 〔夏休みとくべつごう〕」

福岡県 福岡市立照葉小学校 二年

石松 真一



選評
実際に北海道の札幌市水道記念館まで行って、水が自分たちのところに届くまでについて調べ、分かったことをわかりやすくまとめてくれました。まめちしきコーナーなど、まとめ方にも工夫が見られました。

準優秀賞

高学年の部

「水めぐり新聞」

秋田県 潟上市立飯田川小学校 四年

富樫 龍陽



選評
水の循環について、浄水場から水道管、そして配水場から下水処理場まで、実際に自分の足を使って訪ね、それぞれの施設の動きについて調べたり体験したりして、新聞にまとめてくれました。実際に学んだからこそ、内容に説得力がありました。素晴らしいです。

高学年の部

「SIZUKU」

北海道 釧路市立興津小学校 四年

棟多 畑
方田 澤
暖華 玲
里音 那
・ 五永 二十嵐 戸宮
黎暖 沙
空愛 羅



選評
人々と水のかかわりについて、歴史的な視点や環境的な視点など様々な視点から調べてまとめました。資料だけでなく、実際に自分たちの学校での水の使用について調べたり、校長先生や教頭先生にも聞き取りをしたのもよかったです。

「水パラダイス!! スポーツと遊び」

埼玉県 さいたま市立常盤小学校 四年

村上 惺南



選評
わたしたちと水のかかわりで、「水のスポーツや水の楽しみ」という視点は、大変新鮮でした。独創的な発想が素晴らしいです。新聞としても構成や内容がとてもよく工夫され、読みやすかったです。

準優秀賞

高学年の部

「水の恵み」

東京都 江戸川区立小岩小学校 四年

伊藤 由莉

選評

様々な水の恵みの中で、植物と水にスポットを当てた作品です。水がなければ、人間はもちろん植物も育たず困ってしまうので、水を大切にしましょうというメッセージが伝わってきます。



準優秀賞

高学年の部

「生活を支える水新聞」

栃木県 宇都宮市立東小学校 六年

田中 晴菜

選評

もしも水がなくなったら...という視点で、くらしが水によって支えられていることをまとめてくれました。自分で実際に行ったエコ活動も紹介しています。新聞としても見出し、構成、内容などが素晴らしいです。



「しずく新聞」

東京都 練馬区立田柄小学校 四年

鈴野 あおい



選評

美しい水を守り、それをくらしの中で生かしていく取り組みについて滋賀県の事例をもとに調べ、大変見やすく、分かりやすく新聞にまとめてくれました。内容が絞られ、自分の考えもしっかり書いていました。

「地球と水新聞」

東京都 墨田区立小梅小学校 六年

松原 友季菜
井 絹子



選評

地球全体から見て水はどうなっているのかを始め、節水、ミネラルウォーター、珍しい水道、日本の歴史と水など、様々な視点から「水」について調べ、新聞にまとめた力作です。まとめ方もよく、自分なりに工夫されています。

準優秀賞

高学年の部

「H2O新聞」

岐阜県 養老町立広幡小学校 六年

栗田佳葉

選評

生活に欠かせない水について、確保するための苦労や水の安全性、命との関わりなど、様々な切り口で調べることができました。



佳作

低学年の部

「川のしごと新聞」

神奈川県 横浜市立日吉南小学校 二年

清家大誠

選評

水道水のもとになる川などを実際に現地に出かけ、調べました。魚をとったりしながら、水と楽しく触れ合えたことが感じられる内容です。



「水太新聞」

大阪府 吹田市立吹田第六小学校 六年

前川真奈花

選評

水に対して様々な視点をもって調べ、ていねいに分かりやすくまとめました。地名に困った水太くんが効果的に登場しています。



高学年の部

「水新聞」

北海道 札幌市立伏古北小学校 四年

河野美月

選評

水が飲み水になるまでの長い過程を紹介してくれました。地元の札幌に焦点を当てた水に関するクイズはよく考えられており、感心しました。



佳作

高学年の部

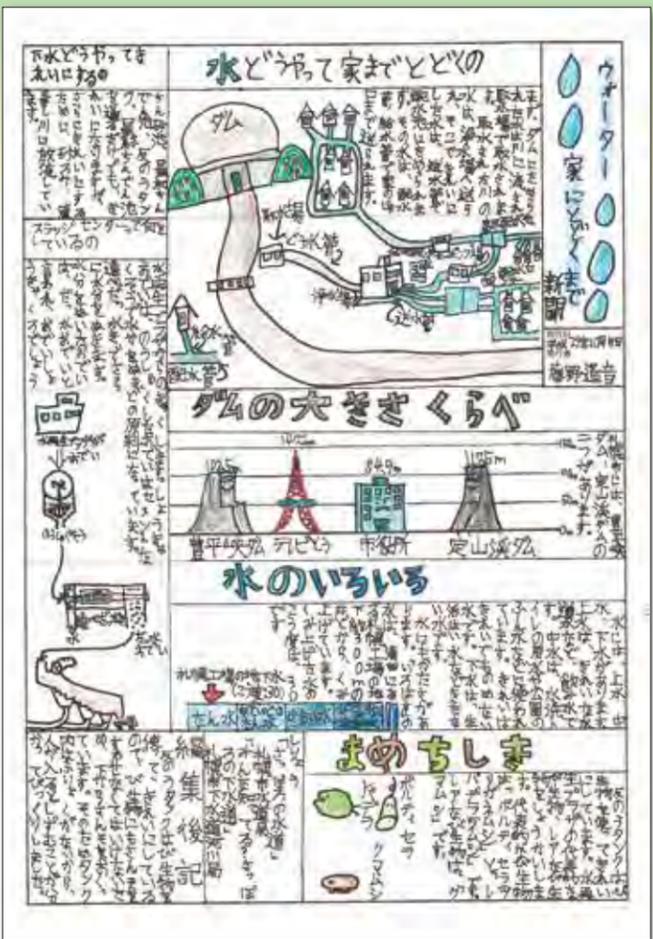
「ウォーター家にとくまで新聞」

北海道 札幌市立伏古北小学校 四年

藤野遙音

選評

ダムに貯められた水が、どのように家まで届くのかを詳しく調べました。図の表現が上手で、読み手に分かりやすくまとめることができました。



佳作

高学年の部

「生活にかかせない水新聞」

青森県 青森市立新城中央小学校 四年

稲見花穂

選評

浄水場と浄化センターに行って調べてきたことをうまく記事にしました。青森の水が一番だとまとめ、郷土に誇りをもてたことが伝わってきます。



「守れ!!青森の『水』新聞」

青森県 青森市立新城中央小学校 四年

石岡美羽

選評

水の循環を表した大きな図が目を引きます。水は巡り巡ってもとに戻ってくることから、家庭からの排水に気を付けなければと感じさせられます。



「わたしたちの命と水」

青森県 青森市立堤小学校 四年

佐々木優理子

選評

ダムや浄水場の役割について調べ、記事にしました。浄水場で働く人の気持ちを紹介してくれたのは、よいアイデアだと思います。



佳作

高学年の部

「水は友達新聞」

茨城県 水戸市立堀原小学校 四年
遠藤里咲・幸田茉凜
近藤旭・齋田勇希

選評

浄水場について調べ、その役割や働く人々の工夫や努力に気付きました。社説には、感謝と節水への思いが詰まっていました。



佳作

高学年の部

「幸せ下水道」

東京都 杉並区立桃井第四小学校 四年
増田千乃

選評

下水道の働きに着目して調べ、様々な工夫に気が付きました。工夫された見出しは、読む人を惹きつけます。



「命とつながる水」

埼玉県 川口市立戸塚南小学校 四年

千葉真

選評

節水のポイントを決め、家族で取り組み、そこから自分の生活を振り返り、節水の大切さを考えることができました。



「水の道新聞」

神奈川県 相模原市立緑台小学校 四年

荒田実咲

選評

井戸や水の循環の仕組みを調べ、「水の道をまもるためには」というコラムに自分の熱い思いをまとめていました。



佳作

高学年の部

「人と水新聞」

神奈川県 相模原市立緑台小学校 四年

佐藤 心花

選評

人々がどのようにして水を得ているのか、井戸や浄水場の仕組みを調べました。そこから水の大切さに気付きました。



佳作

高学年の部

「水みず新聞」

大阪府 高槻市立北大冠小学校 四年

福井 美都

選評

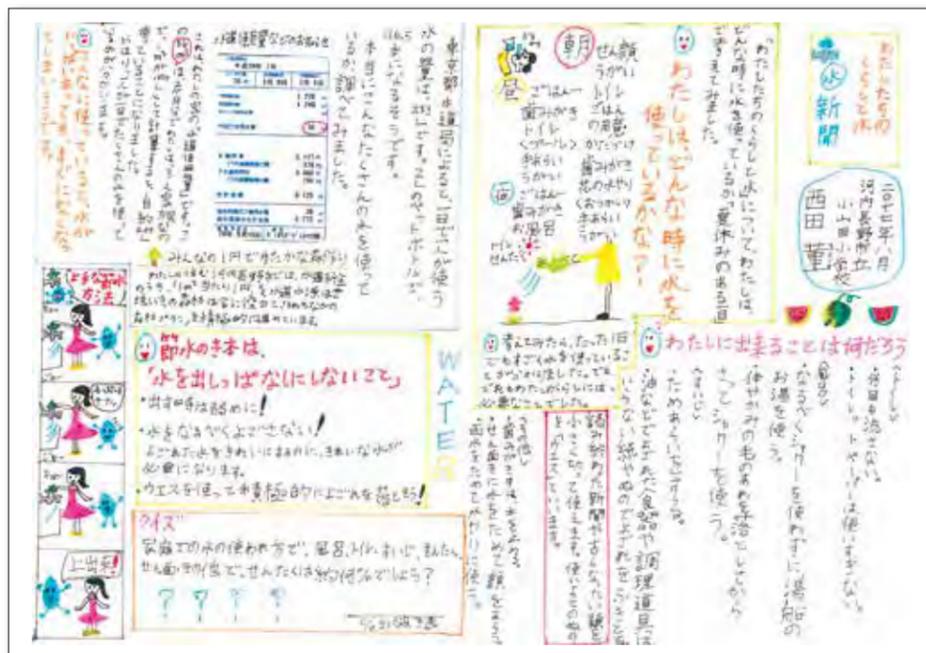
水の循環について調べ、水を貯える山の大切さや、人間が水をきれいにしなくてはいけないことに気付きました。



「わたしたちのくらしと水新聞」

大阪府 河内長野市立小山田小学校 四年

西田 堇



選評

普段の生活の中から、節水のために自分ができることを考えたところがいいです。4コマ漫画にその考えがよく表れています。

「水道ありがとう新聞」

兵庫県 神戸市立魚崎小学校 四年

三好 舞果

選評

水の大切さに気付き、節水方法を考えられています。また、世界に目を向け、水の大切さをさらに実感しているところがいいです。



佳作

高学年の部

「水新聞」

福岡県 北九州市立小倉中央小学校 四年 伊藤 結

選評

浄水場の仕組みなどを図でわかりやすく示すなど、読む人に優しい新聞になっていました。蛇口からの水滴を大きくカットに入れるなど、工夫されていました。



佳作

高学年の部

「一てきの水」

福岡県 小郡市立三国小学校 四年 山下 稜 太

選評

飲み水ができるまでをしつかりまとめられています。また、水を大切にしていくなための意見や自分ができることが書かれています。文字も読みやすくきれいでした。



「みんなの水新聞」

福岡県 小郡市立三国小学校 四年 河室 芽 依

選評

水の誕生から浄水までをまとめた新聞で、上手に書かれています。全体が水色を中心に書かれており、工夫もされていました。



「水ができるまで新聞」

佐賀県 武雄市立山内西小学校 四年 松尾 万莉愛

選評

浄水場の仕組みや水の浄化の必要性などについて、しっかりと調べてまとめています。自分の意見も書かれています。



佳作

高学年の部

「なぜ？なに？きれいな水」

愛知県 稲沢市立稲沢北小学校 五年

安田 彩花

選評

図や絵を多く用いて、わかりやすく説明しようと工夫しています。浄水場の四段階の処理は、図を使ってうまくまとめられていました。



佳作

高学年の部

「地球は水の惑星」

神奈川県 横浜市立三ツ境小学校 六年

西川 栞璃



選評

魅力的なタイトル（見出し）をつけるなど、書き方に工夫があります。また、水に関する数字に色をつけたり太字にしたりなど、読みやすくなっていました。

応募規定

タイトル

第3回 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト2017

テーマ

- 「わたしたちのくらしと水」
〈テーマ例〉
- もし水がなかったら？
 - つたえよう！水の大切さ
 - 学校や家で使う水はどこからくるのかな？
 - 使ったあとの水はどうなるの？
 - わたしたちの地域の水じまん
 - 井戸ってなに？むかしの水とくらし
 - 世界の国の水事情
 - 水の不思議を探してみよう
 - 家族でチャレンジ！節水とエコ
 - 植物に水をあげよう など

応募方法

1. 応募作品には、次の事項を明記した応募票を貼付してください。
 - 応募部門 ○作品の題名 ○学校名 ○学年
 - 氏名(グループの場合は全員の氏名)
 - 担当教諭名 ○学校所在地
 - 学校の電話番号 ○保護者等の支援について
2. 作品は新聞形式のもので、もぞう紙・学習新聞用紙など大きさは自由とします(タテ書き・ヨコ書き自由)。なお、低学年の部では、はがき新聞や絵日記風の新聞でも応募できます。
3. 画材は自由で、カラーまたはモノクロも問いません。また、イラスト・マンガ・写真など自由に入れてください。

4. 手書きまたはパソコン・デジタルカメラ等を使用して制作してください。

応募部門

低学年の部(小学1年生～3年生)
高学年の部(小学4年生～6年生)

締め切り

2017年10月10日(火)(当日消印有効)

発表

2017年12月予定
(日本経済新聞/主催者のホームページ)

賞と賞品

- 1)個人またはグループ賞
 1. 最優秀賞：全応募作品から1作品
賞状、盾、副賞(図書カード5万円分)
 2. 優秀賞：両部門計4作品
賞状、盾、副賞(図書カード2万円分)
 3. 準優秀賞：両部門計10作品
賞状、副賞(図書カード5千円分)
 4. 佳作：両部門計20作品
*審査の結果佳作受賞者を21作品としました。
賞状、副賞(図書カード千円分)
 5. 努力賞：両部門計65作品
賞状、副賞(図書カード5百円分)
- 2)学校賞
学校奨励賞 2校
*審査の結果受賞校を3校としました。
- 3)参加賞
応募者全員に記念品

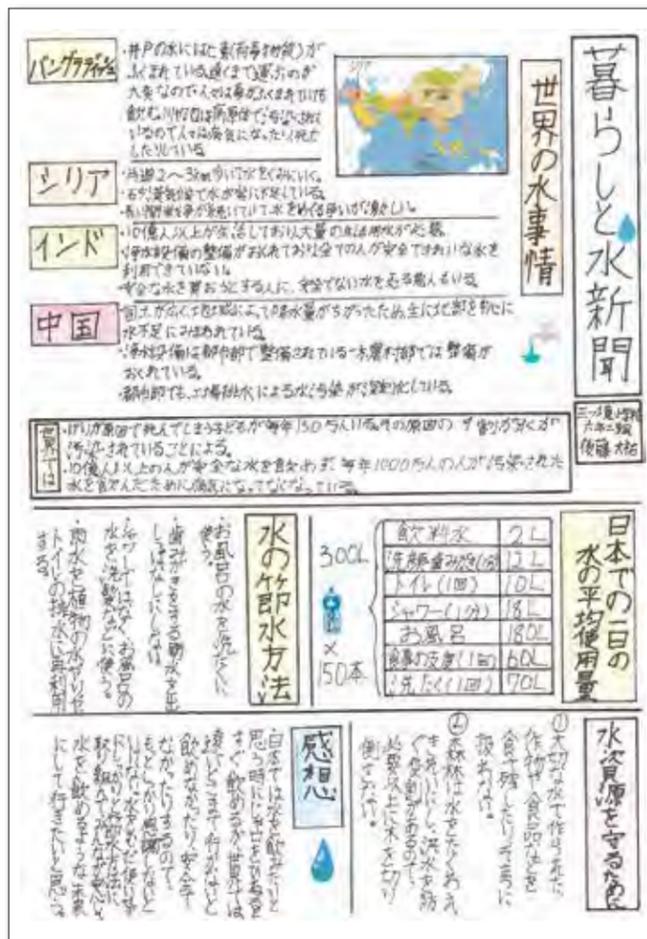
「暮らしと水新聞」

神奈川県 横浜市立三ツ境小学校 六年

後藤 大祐

選評

世界(アジア)の水事情をよく調べて、比較してうまくまとめています。書き方も表を用いたり、見出しをきちんとつけるなど、見やすく仕上がっています。



応 募 校 一 覧

都道府県	学校名
兵庫県	明石市立山手小学校
	加古川市立加古川小学校
	川西市立陽明小学校
	播磨町立播磨小学校
和歌山県	有田川町立石垣小学校
	串本町立西向小学校
鳥取県	鳥取市立湖南学園小学校
岡山県	倉敷市立第二福田小学校
広島県	広島市立八幡小学校
	江田島市立大古小学校
	庄原市立東城小学校
	廿日市市立阿品台西小学校
	東広島市立郷田小学校
	福山市立春日小学校
	福山市立鞆小学校
三原市立中之町小学校	
愛媛県	西予市立城川小学校
福岡県	福岡市立小笹小学校
	福岡市立照葉小学校
	北九州市立黒崎中央小学校
	北九州市立小倉中央小学校
	小郡市立三国小学校
	春日市立春日野小学校
	久留米市立合川小学校
	筑紫野市立原田小学校
佐賀県	佐賀市立若楠小学校
	嬉野市立久間小学校
	武雄市立山内西小学校
長崎県	長崎市立形上小学校
	長崎市立外海黒崎小学校
熊本県	熊本市立武蔵小学校
	益城町立広安西小学校
宮崎県	南阿蘇村立南阿蘇西小学校
	宮崎市立本郷小学校
鹿児島県	鹿児島市立西伊敷小学校
	知名町立田皆小学校
沖縄県	うるま市立赤道小学校

合計 160校

都道府県	学校名
神奈川県	横浜市立洋光台第四小学校
	相模原市立田名小学校
	相模原市立緑台小学校
	平塚市立旭小学校
	平塚市立大野小学校
	平塚市立城島小学校
新潟県	村上市立西神納小学校
福井県	坂井市立加戸小学校
山梨県	山梨市立日川小学校
長野県	上田市立神科小学校
	松本市立田川小学校
	軽井沢町立軽井沢西部小学校
岐阜県	下呂市立東第一小学校
	養老町立広幡小学校
	養老町立養老小学校
静岡県	浜松市立尾奈小学校
	御殿場市立御殿場小学校
愛知県	名古屋市立東山小学校
	安城市立梨の里小学校
	稲沢市立稲沢北小学校
	岡崎市立大門小学校
三重県	いなべ市立笠間小学校
滋賀県	東近江市立蒲生北小学校
	彦根市立城東小学校
京都府	京都市立新町小学校
	京都教育大学附属桃山小学校
大阪府	大阪市立上福島小学校
	大阪市立小松小学校
	大阪市立高殿小学校
	大阪市立東田辺小学校
	大阪市立東中川小学校
	河内長野市立小山田小学校
	吹田市立吹田第六小学校
	高槻市立北大冠小学校
	豊中市立刀根山小学校
	豊中市立野畑小学校
	寝屋川市立桜小学校
	八尾市立高安小学校
	太子町立磯長小学校
	神戸市立魚崎小学校
明石市立大観小学校	
兵庫県	

応 募 校 一 覧

都道府県	学校名
埼玉県	川口市立十二月田小学校
	川口市立戸塚南小学校
	川口市立前川東小学校
	川越市立新宿小学校
	坂戸市立坂戸小学校
	鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校
千葉県	千葉市立園生小学校
	千葉市立千草台小学校
	我孫子市立湖北小学校
	いすみ市立大原小学校
	市原市立有秋東小学校
	柏市立柏第五小学校
	鎌ヶ谷市立北部小学校
	暁星国際小学校
	習志野市立香澄小学校
	船橋市立田喜野井小学校
東京都	板橋区立北前野小学校
	江戸川区立小岩小学校
	江東区立明治小学校
	江東区立八名川小学校
	杉並区立桃井第四小学校
	墨田区立小梅小学校
	千代田区立和泉小学校
	豊島区立池袋第三小学校
	川村小学校
	練馬区立関町小学校
	練馬区立田柄小学校
	文京区立駕籠町小学校
	稲城市立稲城第六小学校
国立学園小学校	
八王子市立松が谷小学校	
神奈川県	横浜市立青木小学校
	横浜市立小坪小学校
	横浜市立下末吉小学校
	横浜市立永谷小学校
	横浜市立西が岡小学校
	横浜市立馬場小学校
	横浜市立日吉南小学校
	横浜市立三ツ境小学校
	横浜市立緑園東小学校
	横浜市立峯小学校

都道府県	学校名
北海道	札幌市立伏古北小学校
	岩見沢市立メープル小学校
	釧路市立興津小学校
	深川市立一巳小学校
	厚沢部町立鷺小学校
	猿払村立鬼志別小学校
青森県	青森市立油川小学校
	青森市立新城中央小学校
	青森市立堤小学校
岩手県	平川市立平賀東小学校
	栗石町立下長山小学校
宮城県	仙台市立市名坂小学校
	仙台市立桜丘小学校
	仙台市立八本松小学校
	仙台市立東仙台小学校
	大崎市立川渡小学校
	白石市立大平小学校
秋田県	登米市立米谷小学校
	大和町立吉岡小学校
山形県	潟上市立飯田川小学校
	鶴岡市立朝陽第三小学校
	天童市立長岡小学校
福島県	遊佐町立遊佐小学校
	福島市立余目小学校
	福島市立福島第三小学校
	福島市立矢野目小学校
	桜の聖母学院小学校
	須賀川市立西袋第一小学校
茨城県	只見町立朝日小学校
	水戸市立堀原小学校
	笠間市立大原小学校
栃木県	つくば市立沼崎小学校
	土浦市立真鍋小学校
埼玉県	宇都宮市立東小学校
	高崎市立上郊小学校
	さいたま市立芝川小学校
	さいたま市立常盤小学校
	さいたま市立与野西北小学校
	浦和ルーテル学院小学校
群馬県	川口市立神根東小学校
	川口市立芝小学校

水と未来。



自然からの学びを、よりよい未来づくりへ。
セディア財団はさまざまな活動を展開しています。

人は自然とともに暮らし、自然から多くのことを学んで大人になってきました。しかし利便性や効率だけを優先して突き進むわたしたちの社会は、便利になったけれど、その分、自然と接する場所がどんどん消えている状況にあります。これはしあわせな状況なのでしょうか？いつの時代も、自然は偉大な教師。自然との共存なくして、しあわせな暮らしは成り立ちません。大切なのは、気づくことです。セディア財団は気づきの場になることから始めます。すべての生き物の命の源であり、すべてのはじまりである「水」を中心に、自然の大切さ、自然からの学びの尊さを発信し、学びの場となる活動を行っています。「かべ新聞コンテスト」の開催もそのひとつ。かべ新聞の制作を通して、子どもたちに「水の大切さ」に気づいてほしいという願いを込めてスタートいたしました。自然へ向きあう子どもたちの真摯な姿勢こそ、たしかに未来づくりへの財産。自然からの学びを、よりよい未来づくりへ活かすために、セディア財団はさまざまな活動を展開しています。これからのセディア財団に、どうぞご期待ください。

さあ、
水から学んだこと。
自然から学んだこと。
未来にとって大切なこと。

一緒に話し合いましょう。



公益財団法人 セディア財団

〒104-0045 東京都中央区築地5丁目6番10号 浜離宮パークサイドプレイス6F
TEL: 03-3549-3090 FAX: 03-5565-6374
<http://www.sedia-found.org>

いつもありがとうございます

〈お問い合わせ先〉

全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト事務局（プラスエム内）

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-17-6 群成舎八丁堀ビル 6階
TEL: 03-6222-5251 FAX: 03-6222-4823 E-mail: mizu-shinbun@plus-m.co.jp